



### テイラー Teller



vol.4 「成人の節目に一生の相棒となるスーツを」  
VITA DESIGN 代表 辻 亮一

成人式は、成長と新しい旅立ちを祝う、一生に一度の大切な日です。久留米にはその大事な瞬間にふさわしい、特別な一着を仕立てるVITA DESIGNがあります！

私自身、成人式では当時働いていたブランドの既成スーツを着ましたが、サイズを合わせるための補正にかなり苦労しました。今思えば、「オーダーメイドにすればよかったなあ」と。既成スーツにはない、体にぴったりと合ったフィット感や特別感が、オーダーメイドにはあります。そこで、VITA DESIGNでは、お客様一人ひとりの体型や個性に合わせたスーツを丁寧に仕立てています。

親御さんにとっても、お子さんの成人式は感慨深い瞬間です。そんな大切な日を、最高のスーツで迎えていただけるよう、お手伝いさせていただければ幸いです。オーダーと聞くところと敷居が高いと感じるかもしれませんが、どうぞご心配なく。スーツ選びから細かいディテールの決め方まで、しっかりサポートします。購入するかどうかは別として、まずは気軽にご相談だけでも大歓迎です。

9月中旬にご来店いただき、「SECONDを見た」と言っていたら、ささやかですが20%OFFの特典をご用意しています。この機会に、ぜひご家族でご来店ください！



成人の節目に、一生の相棒となるスーツをVITA DESIGNでお仕立てしませんか？

オーダーサロン VITA DESIGN (ヴィータデザイン)  
久留米市東町1-11 トーワイーストヒルズ102【完全予約制】  
TEL.0942-65-6990 [vita\\_design\\_men](https://www.vita_design_men.com)



### オッピのひとりごと

(vol.2)



<プロフィール>  
OHANAのロゴのO、ピンク色のOなのでオッピ。  
好奇心旺盛で情報通の男の子。年齢不詳。

オッピ

ぼくはオッピ。ぼくは最近「養育里親」について調べている。前回の調査では福岡県内で約745名もの子どもたちが親と離れて暮らさざるを得ない状況であることや、数日から数週間の短期間でも里親さんの家で過ごす子どもたちが増えているということを知った。今回僕が気になったのは、どんな人たちが「里親さん」になっているのかということ。そこで再び、里親支援機関に話を聞くことにした。そこでぼくは驚くべきことを知る。OHANAという里親支援機関で登録している里親さんで一番多い年代は40～50代。共働き家庭も多く、約4割は子育て経験のない世帯。さらに約3割がペットを飼っている。ペットのいるお家に子どもが預けられるときは、事前にアレルギーの確認もされるということだった。どうやら里親家庭も多様化が進んでいるようだ。これはますます目が離せない。僕は引き続き里親制度について調べることを決めた。HPからは資料請求も簡単にできるので、利用してみようと思う。

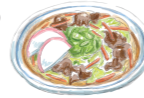


福岡県里親支援機関 OHANA

2020年、福岡県より事業を受託。養育里親制度の広報啓発から里親家庭への支援まで一貫して行う久留米地域のフォスターリング機関。



### あの頃の味。これからの味。(4) 「断と縁」



「貧」という暴力から人々を守る。そのための「幫と会館」の在り方に対して、「断と縁」という言葉がある。「断」とは、「これまでの“幫と会館”のツナガリを切り離し、距離を取りながらツナガリを見立て直すコト」を意味する言葉。対となる「縁」は、「これまでの“幫と会館”のツナガリを深め、解像度を上げて新しい関係を築くコト」といった意味の言葉だ。

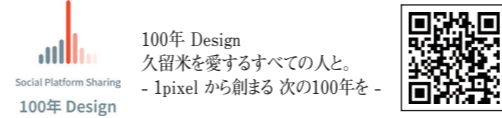
「幫と会館」の関係は、「断と縁」での取り組みを変化させていくことで、しなやかで良好なものになっていく。

時に、見るに見かねて、伯父は僕らに言った。

「忙しいとは思いますが、少しこっちの仕事も(別視点で)やってみませんか?」メタ認知。フレームワーク。Divide and Rule(デバインド アンド ルール)。

「そろそろ(いい加減に)、●●さんに相談してみたら、よかじなかですか!」ヘルプシーキング。ネットワーク。Just Enough(ジャスト イナフ)。

先代たちの話に想いを馳せる時、あの頃の物語にも、これからの物語にも、どこか懐かしく、不思議と新しいような味わいを感じることもある。



### ボスエリ日記 うんこのお供 vol.20



店主  
田中 英里

cafe&BAR La Mer(ラメール) iPhone 即日修理屋さん 久留米店

先日最近生保レディになった常連の女の子に話を聞いてほしいと言われて話を聞きに行ってきた。これから頑張る彼女を応援してやらねばね。先輩(指導役)の女性と3人で話す。いろんなアンケートに答えたりして、私のライフプランを練ってくれた。

彼女「来年には6人にひとり75才以上になります。20年後には2人に1人は100才生きるようになります。」エ「へえ。でもあたしはそんなに生きる気ないよ?年取って、体悪くなって、働けなくなって、楽しくなくなったら死のうと思ってる。年金とか若者に負担が増えるのも可哀想だしね。子孫も残してないし、長生きする価値がない。だから結婚もしない。相棒できたら死にたくなるかもしれないから。」彼女「そんな。」エ「そういう人間もいるってことよ。それよりまだ慣れないから仕方ないけど、オドオドしすぎ。もうちょっとハキハキ大きな声で話さないの?聞いてる方が不安になるよ。あたし見てみ。無駄に堂々としたら免状更新の視力検査の時ギリギリOKもらったんよ。ほんとは見えてないのに。」先輩「あはは!指導いせんね。」エ「私は儲からないBARと携帯の修理屋をやってるんですけど、全く真逆のことをして見えてきたことがあるんです。人間に正解はない。一度壊れた関係を直すのも大変。でも機械は間違えずにやればちゃん直る。そして感謝される。酔った奴にブスブス言われるよりよほど気分がいいんですよ。でもどちらが好きかと言われたらやっぱり飲み屋なんです。みんなで酔ってしようもない話をしてケラケラ笑ってるのが性に合ってる。だから元気があるうちはたくさん笑って、元気なくなったらさっさと死ぬ!これが私のライフプランです。」結局先輩を巻き込んで喋りまくってやった。参ったか!これが真のおしゃべりクソババアだ!粗品でももらった洗剤をプラブラさせながら帰ってきた。明日ががんばろう。

cafe&BAR La Mer iPhone 即日修理 久留米市 検索  
久留米市通町7-1-2階 / TEL.090-7114-8787  
営:12:00~翌2:00 / 休:なし [lamer1999.8.20](https://www.lamer1999.com)



そめや歯科  
訪問診療・マウスピース矯正  
承っています  
通町4-11 ☎46-2218

### ドレッシングでHAPPYになろう!

vol.4 「1000アイランドドレッシング」

ちくごちゃんねる 代表 北村 百合子



[chikugochannel](https://www.chikugochannel.com)

東京都出身、福岡在住10年目の38歳、二児の母。食品メーカーの研究開発職を経て、一人でドレッシングを製造・販売中。

世の中に星の数ほど溢れているドレッシング達を、味、香り、色、物性などの特徴に応じて分類していくとする。「胡麻ドレグループ」や「たまねぎドレグループ」には、たくさんのドレッシング達がカテゴライズされるだろう。しかし、その中で最も異彩を放ち、他のドレッシング達を寄せ付けない者がいる。「1000アイランドドレッシング」である。

私は1000アイランドに魅了された一人。1000アイランドには「思わず何度も食べたくなる独特の癖」がある。その要因は、ピクルス、ケチャップ、ウスターソース、香辛料という食材の組み合わせによるものである。

特に「ピクルス」の影響が大きく、ピクルスが1000アイランド特有の癖になる味の特徴を決定づけている。全体的に甘口でありながら、ピクルスの風味と、ケチャップの甘酸っぱさ、香辛料の香りなどが複雑に絡み合っている。1000アイランドは、野菜サラダは勿論、魚フライやじゃがいも料理、サンドイッチやバーガーのソースとしても使える。このように、「漬物をドレッシングに入れる」ことで「何度も食べたくなる独特の癖」が生み出せるならば、「高菜漬でドレッシングを作ったら面白いだろう」と考え、生まれたのが「かけたかな」である。



### priceless? or free? (3)

協働の街ぐるめ  
久留米市市民活動サポートセンター みんくる  
久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階  
TEL.0942-30-9067 / mail:info@kurume-kyodo.jp



1970年頃は、100万円を貯金すると10年間で200万円になる社会でした。それから半世紀、2000年以降は、100万円を貯金しても10年間で102万円にしかならない社会になりました。

この社会変化は「ボランティア活動における priceless(プライスレス)な価値・free(フリー)な価値」にも大きな変化をもたらすと同時に、それぞれの世代に大きな溝を創ってしまったように思えます。

現在、様々なボランティア活動団体が「参加者」や「担い手」を探しています。その一方で、多くの現役世代にとって、「金銭的な負担を当然のように強いてくる類のボランティア活動」への参加は難しいものとなっています。

時に「金銭的な負担軽減」が論点となり、負担金額の大小に話が発展することもあります。多くの場合、金額の大小は本質的な問題ではありません。

金額以前に、「priceless(プライスレス)な価値・free(フリー)な価値」へ対する解釈がすれ違っているのです。「負担を当然のように強いてくる枠組み = freeを強いてくる枠組み」それ自体に対し、あるいは、その枠組みを是(priceless)とした活動の在り方に対し、あるいは、pricelessとfreeの違いを意識しない組織体質に対し、現役世代は、違和感・戸惑い・恐れ・疑問を抱き、賛同できない状況にあるようです。(次号に続く)